

大空 —放哉だより—

第160号 2024.12.5

発行:小豆島尾崎放哉記念館 〒761-4106土庄町本町甲1082 ☎62-0037

大正14年12月26日、放哉は4ヶ月ぶりに入浴したことを井泉水に手紙で伝えてい
ます。気持ちが良くなったと同時に、姿見に映る痩せた自分の姿に驚きを隠せずにいま
す。そして、『入庵食記』には「四ヶ月ノ内ニコウモヤセルモノカ?」と記されています。このよ
うな状態の中句作に励んでいたことも踏まえながら、ぜひ放哉の句を鑑賞してみてください。

右の写真は、南郷庵近くにあった銭湯「三日月湯」の当時の看板(鏝絵)です。
記念館に向って左にあります。※鏝絵…漆喰を用いて作られるレリーフ(浮き彫り)のこと。
左官職人がこてで仕上げていくことからこの名がついた。



大正十四年十二月二十七日 荻原井泉水あて封書(一部抜粋)

……此ノ日 朝カラ妙ニ風呂ニハイリ度イ気持ガ出テ来タ、可笑シ
イ事ダナと思フ、(或ハ新年ガ近イカラ、旧イ習慣ガ、ソナ気ヲ起
サセタノカ)正ニ決シテ威張ルワケデモなんデモナイガ、這入リ度
イ気持ガ今迄ハ出テ来なんだノデスヨ、……ソレガ、今朝カラノ気
持! 正ニ四ヶ月目ノ入浴也、午后三時頃カラ、ワクと云ふから其
ノ時刻ヲ見計ツテ、……ソレ迄ニ、ボー／＼と生へて居たアゴヒゲ
と口ヒゲとワゴク短カクハサミデ刈ツテ、……頭モ大分、后頭部ハ
ノビテ居ル様ダガ、……コレハ此儘として扱、銭湯ニ行く、早いか
ら二三人シカ居らぬ、……銭湯三銭也全く、よい気持ニなつて……
四ヶ月ブリのよい気持になつて(エライもんだ、手も足も、白くな
りましたよ)帰庵しました 扱、其ノ銭湯で、姿見ニ、私ノカラダ
ヲ久しぶりニウツシテ見テ 実ニ驚いたの、ナンノつて……マルデ
骨と皮也(私ノ「顔」ハ昔カラ、病氣シテ長ク寝テ居テモ、ヤセナ
イ顔ナンデス)之デハ、十貫目モアルマイ、(十四貫近クアツタノダ
ガ)……瘦セタリナ／＼、コレデハ到底、コレカラ、肉体労働ハ出
来ヌ、只コウシテ座つて掃き掃除位サセテモラツテ、早く死ぬ事ノ
／＼と思ひ候、全く自分乍ラ、アキレ返る程ヤセタ／＼、驚き申候

※十貫 三十七・五キログラム
十四貫 五十二・五キログラム

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
●放哉だより発行日 □記念館休館日 □資料館休館日						



本年も大変お世話になりました。

ありがとうございました。

来年もどうぞよろしくお願いいたします。



年末年始の休館日

小豆島尾崎放哉記念館

令和6年12月28日(土)～令和7年1月4日(土)

土庄町尾崎放哉資料館

令和6年12月29日(日)～令和7年1月3日(金)